



CLASSIC PRO
UPS
UPS1000RT



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

1.安全にご使用頂くために

- 主電源の接続がされていなくても、120V を出力する場合がございます。
- バッテリーケーブルや電源コードの交換については、容量不足や熱による火災を避けるために弊社、または販売店にお問い合わせください。
- 爆発を引き起こす恐れがあるため、火の中にバッテリーを置かないでください。
- 感電の恐れがあるため、本体のケースを開けることは絶対に止めてください。
- 感電の恐れがあるため、バッテリー接続端子に触れないでください。
- ヘアドライヤーや電気ヒーターなどの機器を接続しないでください。
- UPS は内部に高電圧回路があるため、絶対に自分で修理をしないでください。
万が一製品に不具合が生じた場合は、直ちに使用を停止し、弊社、または販売店にお問い合わせください。
- 本製品は風通しの良い場所に設置し、水、可燃性ガス、腐食性のあるものから離してください。
- フロントとサイドパネルの吸気口、リアパネルの排気口を塞がないように、壁などから離して設置してください。
- 周辺温度 0℃～40℃以内でご使用ください。
- 感電の恐れがあるため、結露の起きやすい気温が低い場所、高湿度な場所では使用しないでください。必ず内部、外部共に乾いた状態でご使用ください。
- 緊急時にはいつでもコンセントを抜くことができるように接続、設置してください。

2.インストール



2.1. 開梱

- ・商品が届きましたら梱包を開き、ユーザーマニュアル、USB ケーブル、設置用脚部、CD-ROM などの付属品を確認してください。
- ・輸送中の損傷がないかどうか確認してください。破損がある、または部品が不足している場合は、電源投入をせずに弊社、または販売店にご連絡ください。
- ・ご購入後、本製品を輸送する時のために梱包箱と梱包材を保存してください。重量品のため、注意して輸送してください。

2.2. 使用上の注意事項

- ・UPS が OFF であることを確認してから、機器を接続してください。
- ・過電流保護されているコンセントに UPS を接続してください。
- ・UPS の最大入力よりも少ない定格電流ソケットに、UPS を接続しないでください。
- ・安全のため、本製品を使用する際は、必ずアースを接続してください。
- ・UPS は本体のコンセントが接続されていなくても、電力を供給することができます。出力を遮断するためには、UPS の電源をオフにし、主電源を切断してください。
- ・ご使用前に 8 時間以上バッテリーを充電してください。UPS に電源を接続すると、自動的にバッテリーを充電します。事前に充電をせずに使用した場合、UPS の出力は通常通り可能ですが、十分なバックアップ時間を得ることができません。
- ・モーター、ディスプレイ装置、レーザプリンタなどに接続する場合、UPS は起動時にかかる負荷に対して、通常 2 倍以上の許容電力を持つモデルを選択してください。
- ・感電や火災の危険性を避けるため、主電源、ブレーカーの容量が UPS の定格容量を上回っていることを確認してください。

2.3 設置

- ・本製品はコンセントに入力電源ケーブルを接続して使用します。
- ・ご使用前に 8 時間以上バッテリーを充電してください。UPS に電源を接続すると、自動的にバッテリーを充電します。事前に充電をせずに使用した場合、UPS の出力は通常通り可能ですが、十分なバックアップ時間を得ることができません。

手順：

- 1) パッケージから設置用脚部品を取り出し、以下のように組み立ててください。



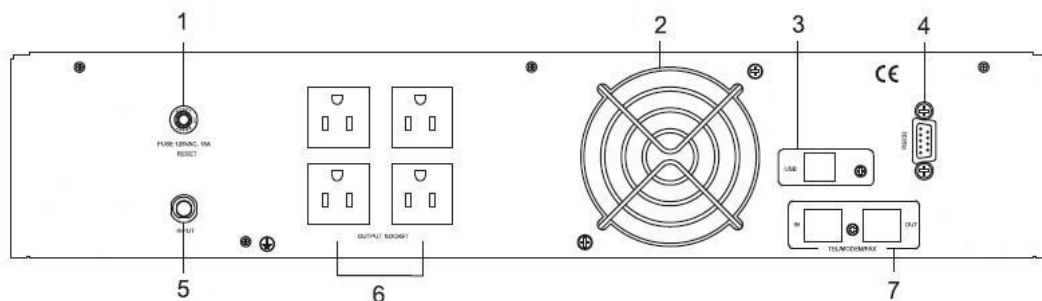
- 2) 水平な場所に平行に二つの設置用脚部品を置き、その上に慎重に置いてください。UPS を移動する際は UPS の主電源がオフであることを確認してください。



- 3) 必要に応じて横置きすることができます。逆さまには置かないでください。横置きにする際は、UPS の主電源がオフであることを確認し、慎重に置いてください。



2.4 UPS リアパネル

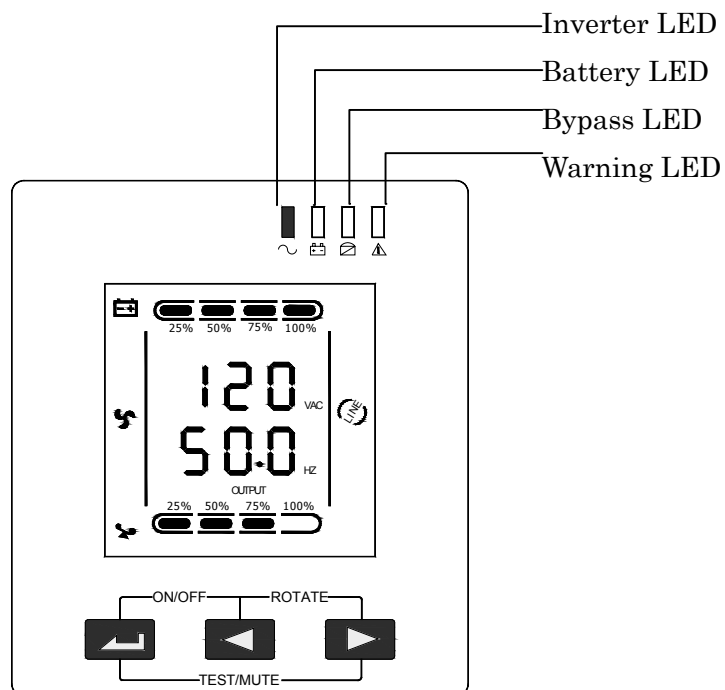


1.サーキットブレーカー、2.冷却ファン、3.USB 端子、4.RS232 端子、5.入力電源ソケット、6.出力電源ソケット、7.TEL/FAX サージ保護端子

※ 商品の仕様は予告なく変更となる場合がございます。

3. フロントパネルの機能と操作

3.1 キー機能



※ **ON/OFF** キー (←+<)

このキーを 0.5 秒以上、長押し押しすることで、UPS の電源をオン/オフすることができます。

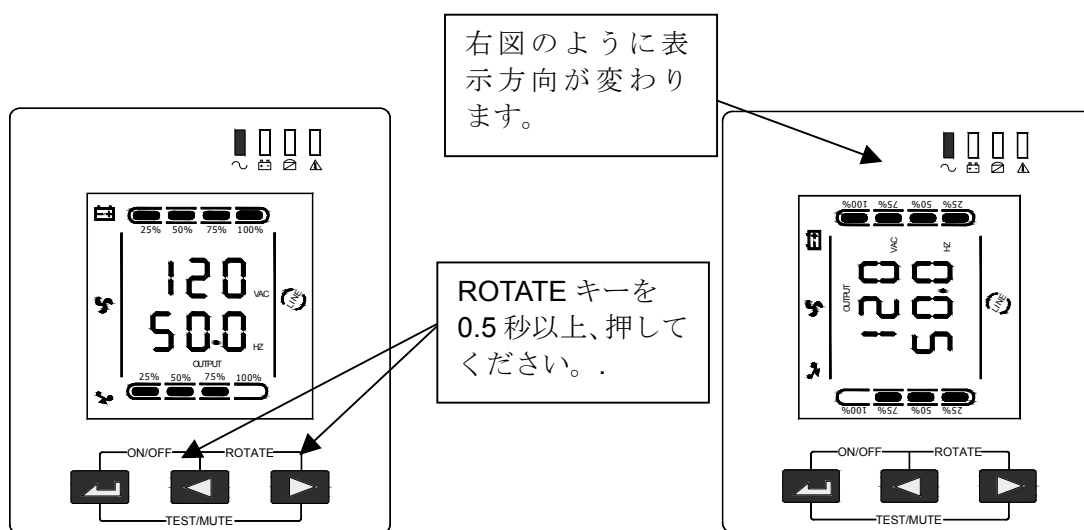
※ **TEST/MUTE** キー (←+>)

メインモードまたは ECO モードで 1 秒以上、長押しすることで、セルフテスト機能を実行します。

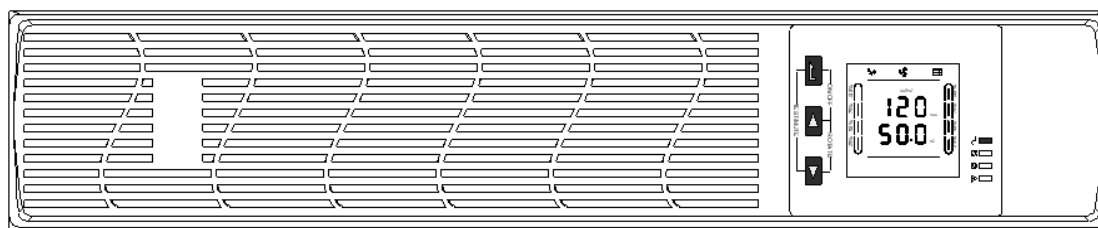
バッテリーモードで 1 秒以上押しすると、アラーム音がミュートされます。

※ **ROTATE** キー (<+>)

このキーを 0.5 秒以上、2 秒未満、長押しすることでディスプレイの表示方向を変えることができます。



この操作をした後で本体を下記のように横置きにしてください。 .



※ INQUIRING キー (<, >)

非機能設定モード時:

- 1) 0.5 秒以上、2 秒未満、長押しすると、表示される項目が順番に表示されます。
- 2) このキーを 2 秒以上押し続けると：2 秒毎に表示される項目が変わります。再び長押しすると、出力表示の画面に戻ります。

機能設定モード時：

- 1) 0.5 秒以上 2 秒未満、長押しすることで、ECO、OPU、BPS モードを切替ます。

※ FUNCTION SETTING キー (←)

非機能設定モード時：

2 秒以上長押しして、機能設定モードにします。

機能設定モード時：

- 0.5 秒以上 2 秒未満、長押しして、機能設定オプションを入力します。
- 2 秒以上長押しして、機能設定モードを終了します。

3.2 LED インジケータ



左から右にインバーターLED、バッテリーLED、バイパス LED、警告 LED です。

警告 LED (赤)：UPS 故障時に点きます。

例えば、オーバーロード、熱異常、インバーター異常、BUS 異常などです。

バイパス LED (黄)：バイパスモードで電源供給時に点きます。

バッテリーLED(黄)：バッテリーモードで電源供給時に点きます。

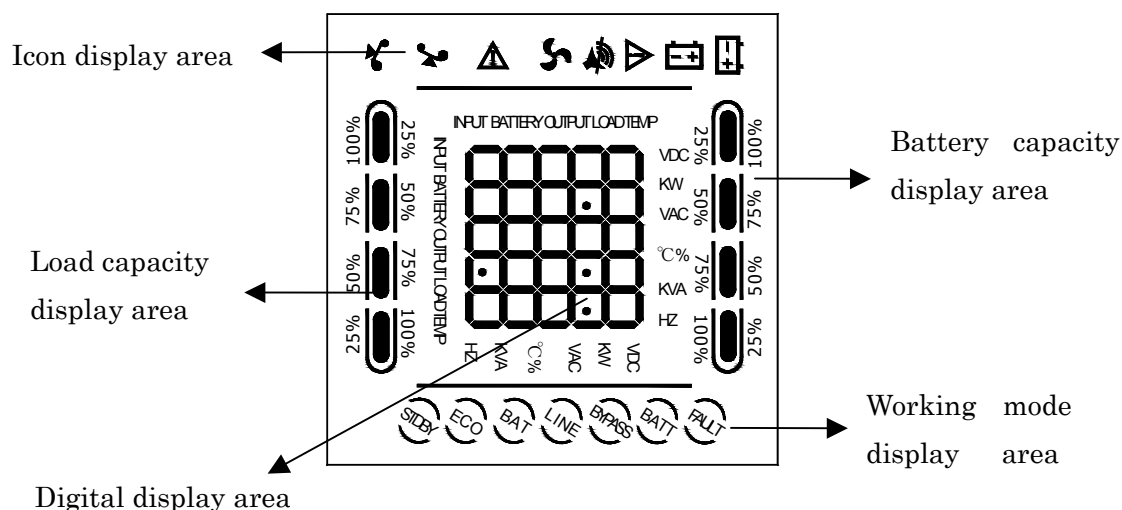
インバーターLED (緑)：主電源、ECO モード、またはバッテリーモードの電源供給時に点きます。

※各モードの LED インジケータが示す内容の詳細は、本マニュアル内の「5. LED ライトとディスプレイパネルが示す警告リスト」を参照してください。

3.3 LCD ディスプレイ.

※ Icon display area:

- 上部のマークは、負荷、バッテリー、ファン、異常およびブザーのアイコンです。負荷アイコンはオーバーロード時に点滅、バッテリーアイコンはバッテリー容量が少なくなった時、またはバッテリーが切断された時に点滅します。左右のアイコンは、負荷とバッテリー容量を 25% 単位で表しています。
- ファンアイコン：ファン正常動作時に回転します。ファンが非接続、また障害が発生している場合、アイコンが点滅します。
- バッテリーモードでミュートボタンを押すと、ブザーのアイコンが点滅し、アラーム音が止まります。
- 異常アイコンは異常時に ON になります。それ以外の場合はオンになりません。



※Digital display area:

- 未設定モード時、UPS が正常に AC モードで動作している時は UPS の出力情報を表示します。入力、バッテリー、負荷や温度のような情報は <> ボタンを押すことにより表示されます。異常時には該当のフォルトコードが表示されます。
- 設定モードでは、出力電圧の選択、また ECO モード、バイパスモードを有効にすることができます。

※Mode display area:

- 20 秒以上経過すると、この表示エリアでは、動作モードが表示されます。STDB (スタンバイモード)、BYPASS (バイパスモード)、LINE (AC モード)、BAT (バッテリーモード)、BATT (バッテリーセルフテストモード)、ECO (エコモード)、SHUTDN (シャットダウンモード)

3.4 電源 ON/OFF 操作

3.4.1 電源投入方法

- ・ ラインモード

主電源が接続されると UPS はバッテリーを充電しますが、LCD ディスプレイには、出力電圧は 0V で表示されます。これは、UPS がデフォルト条件として出力電圧が 0V であるためです。バイパス時に出力電圧を ON にしたい場合は、LCD 設定メニューから BPS を ON に設定します。

ON キーを 0.5 秒以上押すと UPS が起動し、インバーターが動作を開始します。起動すると UPS はセルフテスト機能を実行し、LED が順番に点灯、消灯します。テストが終了すると、対応する LED が点灯し、ラインモードで動作します。

- ・ 主電源なし

主電源が接続されていない状態で ON キーを 0.5 秒以上押してください。通常起動時と同じくセルフテスト機能を実行した後、対応する LED が点灯し、バッテリーモードで動作します。

3.4.2 電源切断方法

- ・ ラインモード

OFF キーを 0.5 秒以上押すことで UPS、インバーターの電源が切れます。

UPS がシャットダウンした後、LED が消灯すると出力はされません。出力が必要とされている場合は、LCD 設定メニューの BPS を"ON"に設定してください。

- ・ 主電源なし

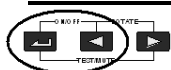
OFF キーを 0.5 秒以上押してください。UPS は電源 OFF 時にまずセルフテストを行います。パネルに何も表示されなくなるまで LED インジケーターが順番に点灯、消灯します。

3.5 UPS セルフ/ミュートテスト操作

ラインモード時、self-test/mute キーを 1 秒以上押してください。LED 点灯後、UPS はセルフテストモードとなり、状態をテストします。セルフテストは自動的に終了します。

バッテリーモード時、self-test/mute キーを 1 秒以上押してください。ブープ音がミュートされます。再度、1 秒以上、self-test/mute キーを押すと再びブープ音が鳴ります。

- ※ 本製品は主電源接続時の既定設定はバイパスモードとなります。必ず、ON/OFF キー(←+<ボタン)を押し、ラインモードにしてください。
ラインモードでのみ、停電時にバッテリーから電源を供給します。バイパスモードでは停電時にバッテリーに切り替わりません。

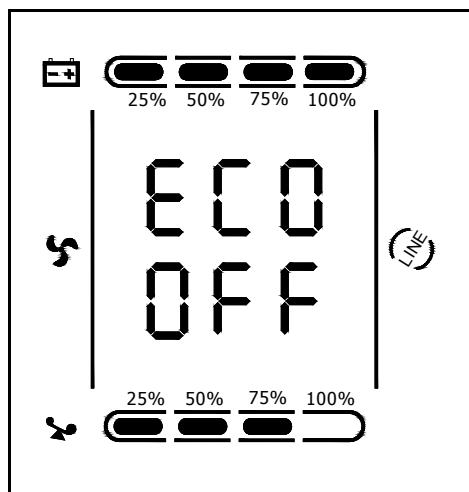
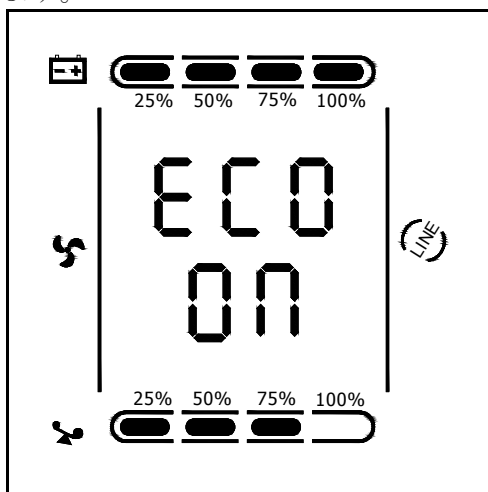


3.6 パネル機能設定

UPS は任意のモードに設定することができます。設定をした後で各モードが有効になります。設定した情報はバッテリーが接続されている状態で、UPS を通常通りオフにした場合にのみ保存することができます。

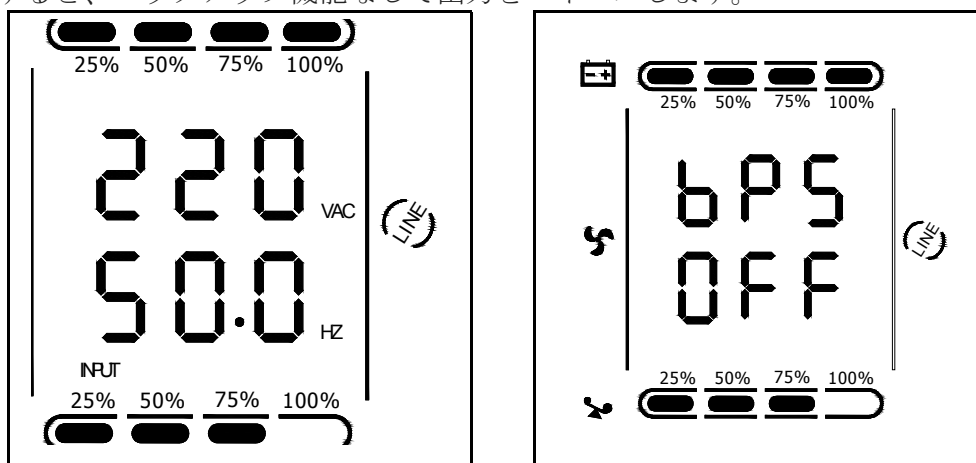
3.6.1 ECO モード

- ・ ←キーを 2 秒以上押して設定画面にしてください。"ECO"が点滅します。ECO 設定画面で、←キーを 0.5 秒以上 2 秒未満押します。ECO が点灯し、ON、または OFF が点滅します。<、>キーを 0.5 秒以上 2 秒未満押して、ON、または OFF を選択します。
- ・ ON または OFF を選択後、←キーを 0.5 秒以上 2 秒未満押すと、設定が完了し、"ON"または"OFF"が点灯します。
- ・ 設定画面を終了するには、←キーを 2 秒以上押してください。メイン画面に戻ります。



3.6.2 バイパスモード設定

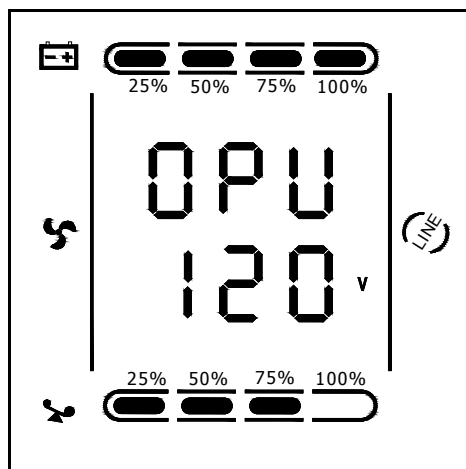
- ・ ←キーを 2 秒以上押して設定画面に入り、>キーを 0.5 秒以上 2 秒未満押して、バイパス出力設定画面にしてください。画面には”BPS”が点滅します。
- ・ バイパス出力設定画面で、←キーを 0.5 秒以上 2 秒未満押すと、”BPS”が点灯し、“ON”または“OFF”が点滅します。<、>キーを押して ON、または OFF を選択してください。
- ・ ON または OFF を選択した後、←キー0.5 秒以上 2 秒未満押してください。"ON"または"OFF"が点滅せずに点灯し、BPS 設定が完了します。
- ・ 設定画面を終了するには、←キーを 2 秒以上押してください。メイン画面に戻ります。
- ・ バイパス設定を ON にした場合、UPS の電源が入っていない状態で主電源に接続すると、バックアップ機能なしで出力をバイパスします。



3.6.3 出力電圧設定

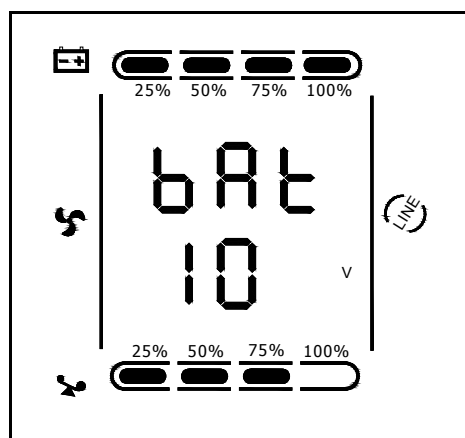
- ・ ←キーを 2 秒以上押して設定画面に入り、<、>キーを 0.5 秒以上 2 秒未満押して、出力電圧設定画面にしてください。画面には”OPU”が点滅します。
- ・ 出力電圧選択画面で、←キーを 0.5 秒以上 2 秒未満押すと、”OPU”が点灯し、出力電圧が点滅します。<、>キーを 0.5 秒以上 2 秒未満押して 100V、110V、115V、120V、127V から選択してください。
- ・ 出力電圧を画面で確認した後、←キー0.5 秒以上 2 秒未満押してください。選択した電圧表示が点滅せずに点灯し、出力電圧の設定が完了します。

- 設定画面を終了するには、←キーを 2 秒以上押してください。メイン画面に戻ります。



3.6.4 バッテリー低電圧設定

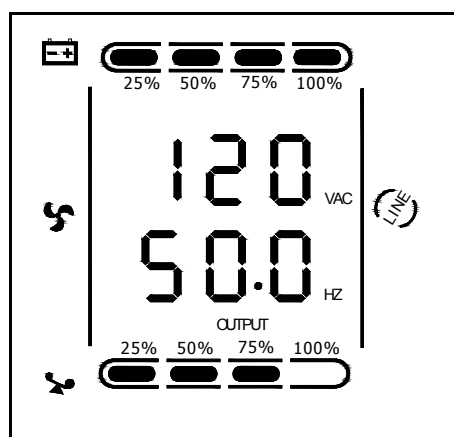
- ←キーを 2 秒以上押して設定画面に入り、<、>キーを 0.5 秒以上 2 秒未満押し、出力バッテリー電圧設定画面にしてください。画面には"bat"が点滅します。
- ←キーを 0.5 秒以上 2 秒未満押しすと、バッテリー電圧設定画面となります。"bat"が点灯し、出力電圧の数値が点滅します。<、>キーを 0.5 秒以上 2 秒未満押しして 10V, 10.2V, 10.5V(デフォルトは 10V) から選択してください。UPS のバッテリー電圧が選択された電圧に達するとシャットダウンが開始されます。
- バッテリー電圧を画面で確認した後、←キーを 0.5 秒以上 2 秒未満押ししてください。選択した電圧表示が点灯し、バッテリー電圧の設定が完了します。
- 設定画面を終了するには、←キーを 0.5 秒以上 2 秒未満押ししてください。メイン画面に戻ります。



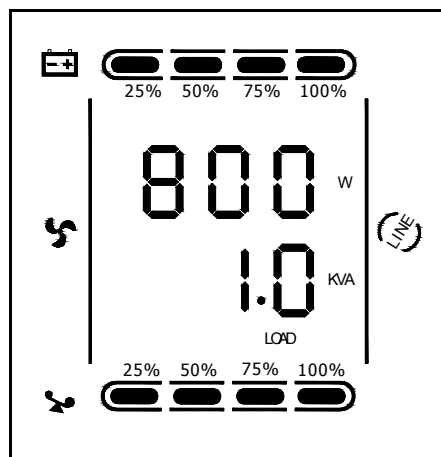
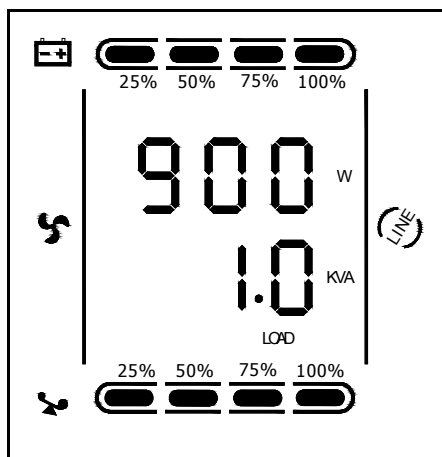
3.7 各パラメーター画面について

<、>キーを 0.5 秒以上、2 秒未満押すと、UPS の入力、バッテリー、出力、負荷、温度など各状態を確認することができます。

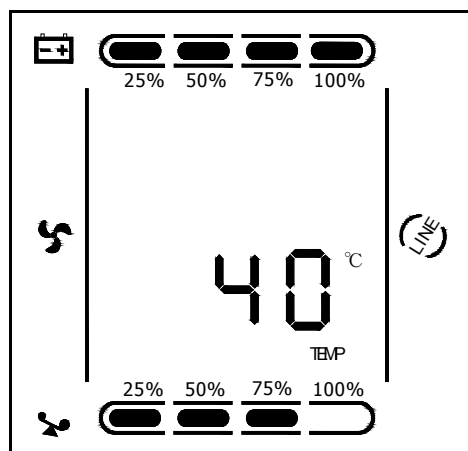
OUTPUT : UPS の出力電圧と出力周波数を表示します。(例)出力電圧は 120V、出力周波数は 50Hz



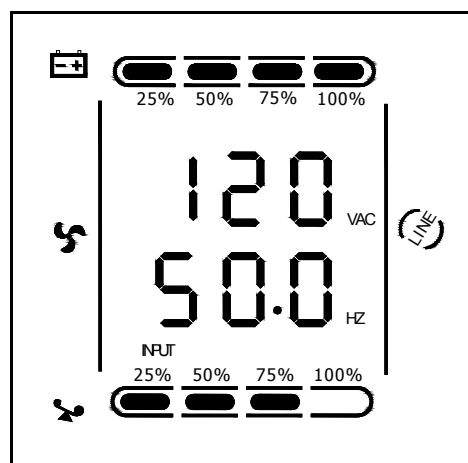
Load : 有効電力 (ワット) と負荷の皮相電力 (VA) の数値を表示します。(例)負荷 : 800W または 900W、VA は 1000VA※負荷がゼロの時に小さい数値が表示されますが、こちらは製品仕様となります。



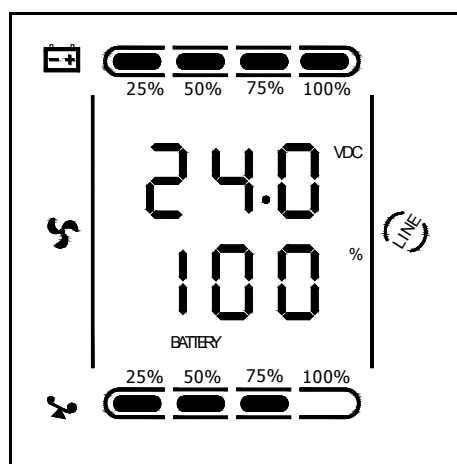
Temperature : UPS 内の最高温度を表示します。(例)最高温度 : 40°C



Input : 入力電圧と周波数を表示します。(例)入力電圧 : 120V、入力周波数 : 50Hz



Battery : バッテリーの電圧と容量を表示します。(例)バッテリー電圧 : 24V、バッテリーの容量 : 100%



>キーを 2 秒以上押すと、各パラメーターが 2 秒毎に変化して表示されます。
30 秒ほどで元の出力画面に戻ります。

4.動作モードについて

4.1 バイパスモード

バイパスモード時、フロントパネルの LED 表示は、次のとおりです。



バイパス LED(黄)が点灯し、2分ごとにブザー音が鳴ります。ブザーが鳴る時に警告 LED(赤)が点灯します。

次の二つの条件でバイパスモードになります：

- ・バイパスを ON、ラインモードで UPS をオフにした場合。
- ・ラインモードで過負荷の場合。

注意：UPS がバイパスモードで動作している場合、バックアップ機能はありません。

4.2 ラインモード

ラインモードの場合、フロントパネルの LED 表示は、インバーター（緑）の LED がオンになります。



入力 AC が動作条件の範囲内の場合、ラインモードで動作します。

4.3 バッテリーモード

バッテリーモードの場合、フロントパネルの LED 表示は、インバーター(緑)LED と バッテリー(黄)LED が両方点灯します。4秒毎にブザーが鳴る時に、警告 LED(赤)が点灯します。



AC 電源が低いか、または不安定な場合、UPS は直ちにバッテリーモードに変わります。

4.4 ECO モード

ECO モードの場合、フロントパネルの LED 表示は、インバーター(緑)LED とバイパス (黄)LED の両方が点灯します。



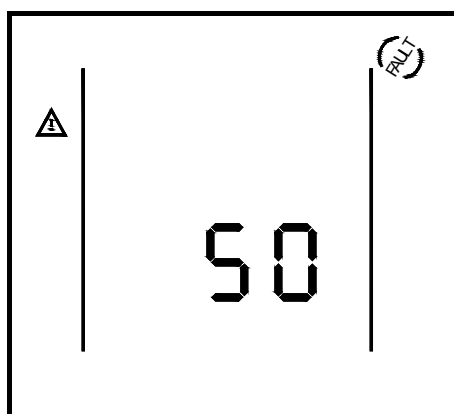
入力電圧が ECO モードの入力範囲内の場合、ECO モードで動作します。入力電圧が

ECOモードの入力範囲を1分間に複数回超え、かつインバーター入力範囲を保っている場合、自動的にACインバーターモードで動作します。

4.5 フォルトモード

UPSは障害が発生した場合に警告LEDが点灯し、ブザー音が鳴ります。

UPSはフォルトモードに変わり、出力を遮断し、液晶ディスプレイにフォルトコードを表示します。



ミュートキーを押すことで、一時的にブザー音を止めることができます。また、重大な障害ではないことが確認できた場合、OFFキーを押してUPSをシャットダウンすることができます。

5. LEDライトとディスプレイパネルが示す警告リスト

付録1：フォルトコード表

Fault reason	Fault code
BUS バー電圧異常	00-14
ソフトスタート異常	15-24
インバーター電圧異常	25-39
内部温度異常	40-44
出力ショートサーキット	45-49
オーバーロード	50-54
入力NTC異常	55-59
電源異常	60-64
入力ヒューズ異常	65-69
その他	88

付録2 LEDと動作ステータス表

	動作 ステータス	フロントパネルLED				アラーム
		Normal	Battery	Bypass	Fault	
1	インバーターモード (主電源)					
	主電源正常	●				N
	主電源高低電圧保護作動 バッテリーモードへ切替	●	●		★	1回/4秒
2	バッテリーモード					
	バッテリー電圧正常	●	●		★	1回/4秒
	バッテリー電圧異常	●	★		★	1回/1秒
3	バイパスモード					
	主電源正常			●	★	1回/2分
	主電源高電圧			●	★	1回/4秒
	主電源低電圧			●	★	1回/4秒
4	バッテリー未接続警告					
	バイパスモード時			●	★	1回/4秒
	インバーターモード時	●			★	1回/4秒
	電源投入時					6回
5	出力オーバーロード保護					
	オーバーロード警告 (主電源モード)	●			★	1回/2秒
	オーバーロード保護作動 (主電源モード時)			●	●	長いアラーム
	オーバーロード警告 (バッテリーモード)	●	●		★	2回/1秒
	オーバーロード保護作動 (バッテリーモード)	●	●		●	長いアラーム
6	オーバーロード警告 (バイパスモード時)			●	★	1回/2秒
7	ファン異常 (ファンアイコン)	▲	▲	▲	★	1回/2秒
8	フォルトモード				●	長いアラーム

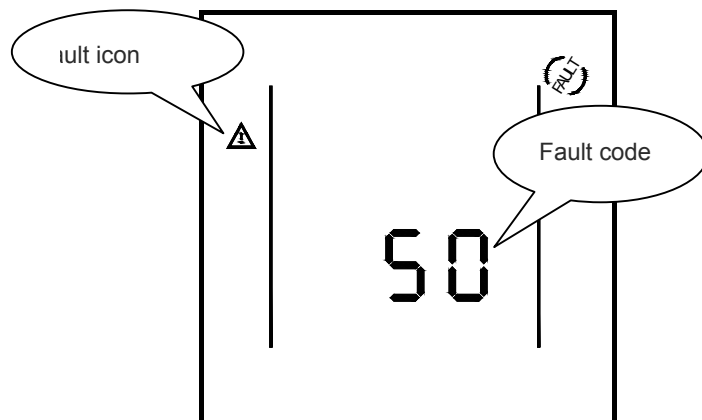
- LED インジケータ－長時間点灯
- ★ インジケータ－点滅
- ▲ LED インジケータ－のステータスは他の条件に依存します。

障害が発生した場合は、下記項目と合わせて弊社、販売店までお問い合わせください。

- モデル名、シリアルナンバー
- 障害が発生した日
- フォルトの詳細(LED ステータス、ノイズ、AC 電源状況、負荷、バッテリー容量の数値)

6. トラブルシューティング

フォルトモード時、LCD ディスプレイは以下のように表示されます。



トラブルの表示	異常個所	解決方法
フォルト LED が点灯、ブザーが継続的に鳴る。フォルトコードは 00～14。	Bus バー電圧異常	販売店、または弊社にお問い合わせください。
フォルト LED が点灯、ブザーが継続的に鳴る。フォルトコードは 15-24	ソフトスタート異常	販売店、または弊社にお問い合わせください。
フォルト LED が点灯、ブザーが継続的に鳴る。フォルトコードは 25-39	インバーター電圧異常	販売店、または弊社にお問い合わせください。
フォルト LED が点灯、ブザーが継続的に鳴る。フォルトコードは 40-44 です	内部温度上昇	UPS をオーバーロードさせないでください。ファン通気口を塞がないでください。10 分間放置し、クールダウンさせた後で再起動してください。異常が解決しない場合は販売店、または弊社にお問い合わせください。

<p>フォルト LED が点灯、ブザーが永続的に鳴る。フォルトコードは 45-49 です</p>	<p>出力ショートサーキット</p>	<p>UPS の電源を切り、すべての負荷を切断してください。負荷側の内部ショートやその他故障がないか確認してください。UPS を再起動して改善されない場合は、販売店、または弊社にお問い合わせください。</p>
<p>フォルト LED が点灯、ブザーが永続的に鳴る。フォルトコードは 50-54 です</p>	<p>オーバーロード</p>	<p>負荷レベルをチェックして、重要度の低い機器を取り外し、UPS への負荷を減らしてください。負荷装置が故障していないか確認してください。</p>
<p>フォルト LED が点灯、ブザーが永続的に鳴る。フォルトコードは 55-59 です</p>	<p>入力 NTC 故障</p>	<p>販売店、または弊社にお問い合わせください。</p>
<p>フォルト LED が点灯、ブザーが永続的に鳴る。フォルトコードは 60-64 です</p>	<p>電力異常</p>	<p>入力、出力側の電力が正常であるかどうか確認してください。異常がある場合には販売店、または弊社にお問い合わせください。</p>
<p>フォルト LED が点灯、ブザーが永続的に鳴る。フォルトコードは 65-69 です</p>	<p>入力ヒューズ異常</p>	<p>入力ヒューズを確認してください。切れている場合はヒューズを交換して、UPS を再起動してください。改善されない場合は、販売店、または弊社にお問い合わせください。</p>
<p>フォルト LED が点灯、ブザーが永続的に鳴る、ファンのアイコンが点滅</p>	<p>ファン異常</p>	<p>ファンがしっかり接続され、差し込まれているか、壊れていないか確認してください。改善されない場合は、販売店、または弊社にお問い合わせください。</p>

ON キーを”操作したときに起動に失敗する	押している時間が短い	2 秒以上電源キーを押し UPS を起動してください。
	入力の接続がされていない、内部バッテリーが接続されていない。	入力にしっかりと接続してください。バッテリー電圧が低すぎる場合、入力を切断し、無負荷で UPS を起動してください。
	UPS 内部異常	販売店、または弊社にお問い合わせください。
バックアップ時間が短い	バッテリー未充電	バッテリーは 3 時間以上、充電をして保管してください。
	UPS オーバーロード	負荷レベルをチェックして、重要度の低い機器を取り外してください
	バッテリー容量の低下	新しいバッテリーに交換してください。
主電源を接続しても供給されない。	UPS 入力ブレーカー切断	マニュアルに従ってサーキットブレーカーをリセットしてください。

△注意: 出力がショートした場合、UPS の保護機能が働きます。AC 入力ショートの原因になりますので、UPS の電源をオフにする前に、全体の負荷を切断し、AC 電源を遮断してください。

7. UPS のバッテリーについて

1. UPSバッテリー

無停電電源装置(UPS)のバッテリーは、密封鉛蓄電池を使用しています。

このバッテリーは使用環境や放電の頻度により、使用寿命が変化します。その定格寿命は理想的な環境下において管理された場合、通常約1～2年（使用温度25℃でおよそ2年、35℃ではおよそ1年です）となります。温度変化や頻繁に放電した場合など、様々な使用環境に応じて、バッテリーの寿命は早期に消耗劣化する場合があります。よって、定期的にバックアップタイムを確認した上で、およそ1年ごとにバッテリーを交換することをお勧めいたします。

2. バッテリー寿命の延命策

バッテリーの寿命を最大限に延命する方法として、以下をお勧めします。

- ・ 本機の定格容量に近くなるまで接続機器を増やさず、5割から8割程度を目安に接続してください。停電の際に負荷が一度にかかると、バッテリーの寿命が短くなります。
- ・ レーザープリンター等、大容量の電流を使用する機材を接続しないでください。
- ・ UPSは、できるだけ通気がよく、涼しい場所に設置してください。
- ・ バックアップタイム（ランタイム）を測るためにUPSを放電すると、バッテリーの寿命が短くなることもあるため、測定回数は1年に1～2度程度までを目安に考えてください。

3. バックアップタイムの測定

バッテリーの寿命は、使用しない場合でも短くなります。定期的なチェック（コンセントから電源コードを抜いて時間を測定）を行っていただき、満充電状態からのバックアップタイムが短くなってきた場合は、早急にバッテリー交換をしてください。

4. バッテリーの保管期間

新しいバッテリーの保管期間は、およそ半年を目安に考えてください。バッテリーは、時間が経つにつれて充電容量が失われ、使用できなくなります。

5. バッテリーの破棄方法

使用済のバッテリーにつきましては、地域の条例に従って破棄するか、最寄りの代理店までお問い合わせください。

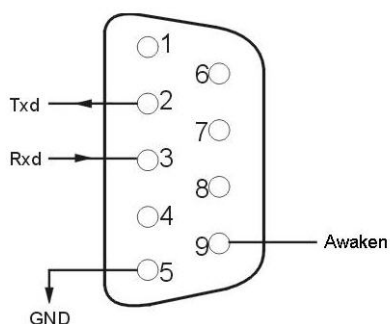
8. インターフェース

UPS は USB、RS232 ケーブルを介してパソコンと接続し、UPS のステータス情報の通信、自動シャットダウンの設定などを行うことができます。必ず付属しているケーブルをご使用ください。

RS232 インターフェースは以下でセットされています。:

- Bit rate: 2400bps
- Byte: 8bit
- Completion code: 1bit
- Bit Pattern: None

Foot	Explanation	Foot	Explanation
1	empty	6	empty
2	Send	7	empty
3	receive	8	empty
4	empty	9	awaken
5	GND		



9. EMC レベル

本製品は以下の規格を満たすように設計されています。

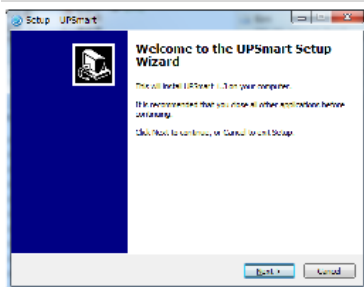
EMS	
IEC61000-4-2(ESD)	Level 4
IEC61000-4-3(RS)	Level 3
IEC61000-4-4(EFT)	Level 4
IEC61000-4-5(Suege)	Level 4
EMI	
GB9254-1998/IEC 62040-2	Class B

10.仕様

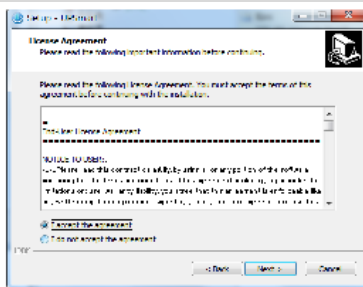
入力		
定格入力電圧	100V	
定格周波数特性	50Hz/60Hz	
電圧範囲	(55~145) ±5VAC(60% LOAD); (65~145) ±5VAC(70% LOAD) (75~145) ±5VAC(80% LOAD); (85~145) ±5VAC(100% LOAD)	
周波数範囲	45-55Hz+/-0.5% 50Hz type	
	55-65Hz+/-0.5% 60Hz type	
入力電流	14A max	
PFC	≥0.98	
THDI	<6%	
バイパス電圧範囲	(95~135) ±5VAC	
出力		
出力電圧	100/110/115/120/127VAC 切替可能	
PF	0.8	
出力容量	1000VA//800W	
インバーター オーバーロード容量	105%~150%: 30 秒アラーム後、バイパスモード >150% : 300 ミリ秒アラーム後、バイパスモード	
電圧精度	±0.2	
Load crest	3:01	
AC モードから BAT モードへ	0ms(転送時間)	
BAT モードから AC モードへ	0ms(転送時間)	
効 率	LINE モード	≥90 % (最大負荷時)
	BAT モード	87%
	ECO モード	94%
出力周波数		
Main モード	入力周波数と同じ	
battery モード	(50/60±0.2)Hz	
位相固定率	≤1Hz/s	
TVHD	Full linear load< 3%; Full nonlinear load< 5%	

バッテリー	
形式	密封鉛蓄メンテナンスフリーバッテリー
数量	2
DC 電圧	24V
I 内蔵バッテリー	9AH/12V
出力電圧	27.1±0.4V
バックアップタイム	バッテリー容量に基づく
充電方法	3 ステージチャージ
充電電流	1A
システム制御と通信	
機能	サイレンス、コールドスタート、AC 再起動、自動再起動
保護	熱保護; ファンテスト保護; AC 電源 L/N 逆接続保護; 出力ショートサーキット保護
ポート	USB
ソフトウェア機能	UPS モニタリング、自動シャットダウン設定、メール通知、イベントログ、スケジュール機能
ディスプレイ	LCD/LED
寸法、重量	
寸法 (W*D*H)	440x468x88
重量 (Kg)	12

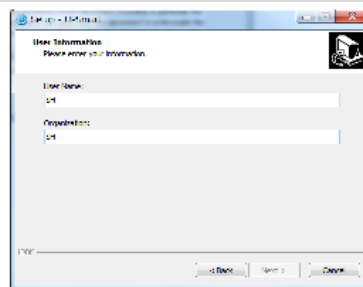
UPSmart インストール方法



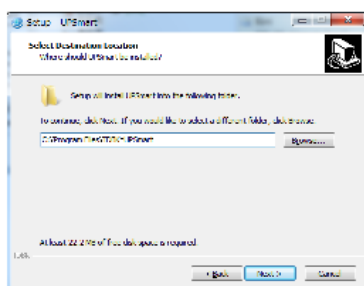
1. セットアップ画面が表示されたら「Next」をクリック



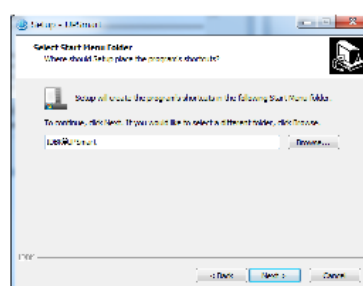
2. 使用許諾契約を読み、「I accept the agreement」にチェックを入れ、「Next」をクリック



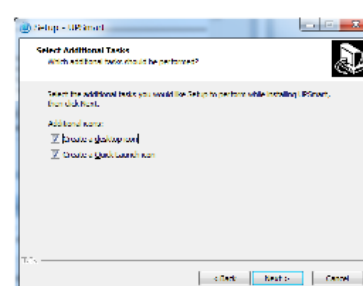
3. ユーザー情報：名前、会社名を入力し、「Next」をクリック



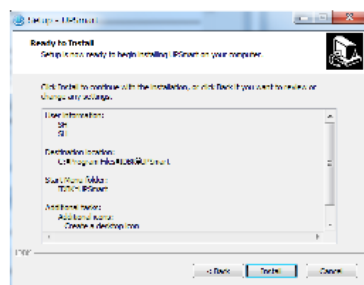
4. インストール先に変更がなければ「Next」をクリック



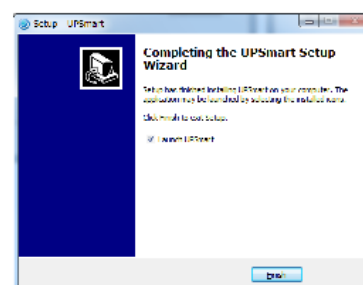
5. スタートメニューフォルダにショートカットを作成：変更がなければ「Next」をクリック



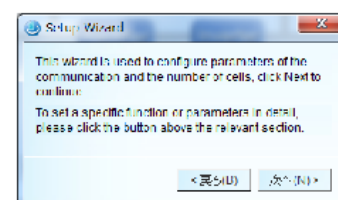
6. 追加アイコンを作成：変更がなければ「Next」をクリック



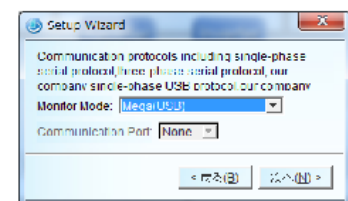
7. 内容の確認をし、変更がなければ「Next」をクリックするとインストールが開始されます



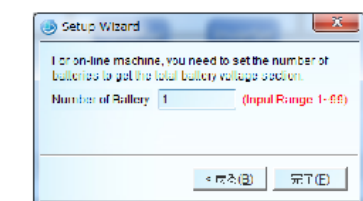
8. インストール完了です



9. 初期設定：「次へ」をクリック



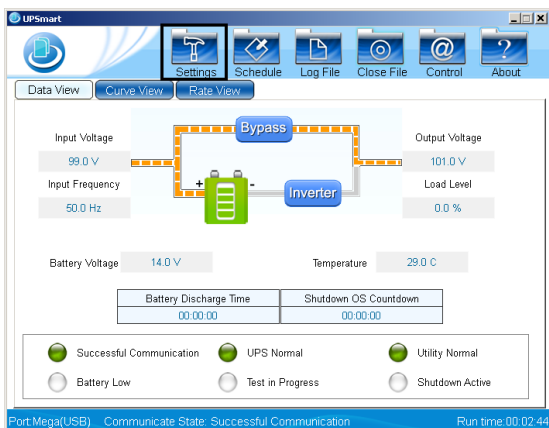
10. Monitor Mode : Mega(USB)を選択し、「次へ」をクリック



11. バッテリーの数：モデルに合わせて入力し、完了をクリック

UPSmart 自動シャットダウン設定方法

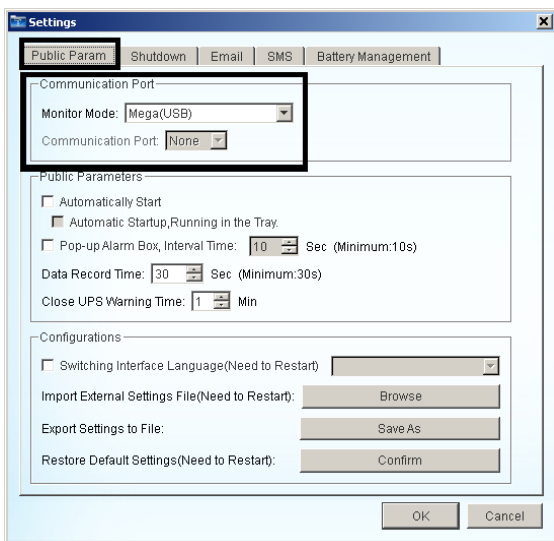
1. UPSmart を起動し、ウィンドウが表示されましたら「Settings」を押してください。



2. 「Public Param」 → 「Communication Port」

LX シリーズ: Mega (USB)、PSII シリーズ: Single-phase UPS (USB)

UPS1000RT: Mega (USB)、または Single-phase UPS (USB) を選択して OK を押してください。



3. シャットダウン時間の設定

「Shutdown」 → 「Shutdown Parameters」

①When Mains Failure, Shut down OS in

停電時、シャットダウンを開始するまでの時間(分)

②When Battery Low Voltage, Shut down OS in

バッテリー電圧低下時、シャットダウンを開始するまでの時間(分)

③Shutdown Operation System

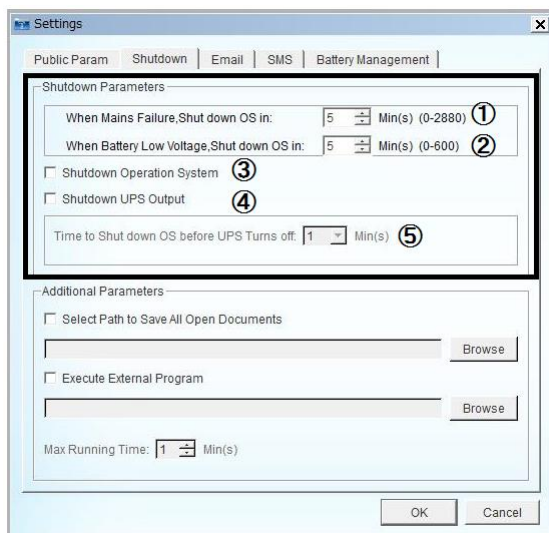
チェックを入れることで自動シャットダウンが有効

④Shutdown UPS Output

チェックを入れることで自動シャットダウン後、UPS の出力停止が有効

⑤Time to Shut down OS before UPS Turns off

自動シャットダウン開始から、UPS 停止までの時間(分)

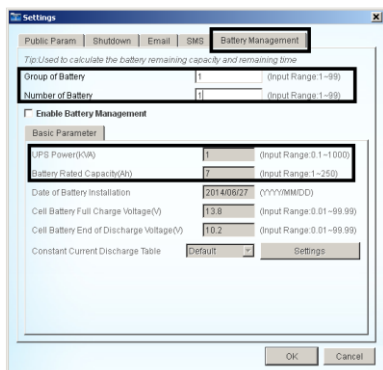


UPSsmart バッテリー設定方法

1. UPSsmart を起動し、ウィンドウが表示されましたら「Settings」を押してください。



2. 「Battery Management」を押してください。



3. 各項目の設定

「Group of Battery」：1 全モデル共通です。

「Number of Battery」：バッテリーの数

モデルに合わせて入力してください。例：UPS500LX→1、UPS1500LX→2

「UPS Power(kVA)」：UPS の容量

モデルに合わせて入力してください。例：UPS500VA→0.5、UPS1500LX→1.5

「Battery Rated Capacity(Ah)」：バッテリー1個あたりの容量

モデルに合わせて入力してください。例：UPS500LX→7、UPS1500LX→8

※ソフト上に表示されるバッテリーの残り時間や容量等の数値は多少の誤差が発生する可能性があります。あくまでも目安としてご利用ください。

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱方法が不適当（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記して下さい。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。